

# 通 告 質 問 一 覧 表

(令和6年3月定例市議会)

| 発言<br>順位 | 通 告 者                                     | 項 目 及 び 要 旨   |
|----------|---|---|
| 1        | <p>【代表質問】<br/>かけはし<br/>16番<br/>宮田 公 人</p> | <p>1 ふるさと納税を活用した農業振興施策について</p> <p>(1) 高梁市の基幹産業は農業であるが、特に稲作農家について市長の現状認識を問う</p> <p>(2) 現在のふるさと納税返礼品における米の位置付け（件数、金額、順位等）はどれくらいか。また、その入手方法を問う</p> <p>(3) 吉備中央町では、町の知名度アップ、生産米のPR、稲作農家の収支改善と元気創出を目的として、ふるさと納税を活用し11,000円の寄付に対して15キログラムの吉備中央町産コシヒカリを贈呈している。この税収増を、米の買取り価格の安定化、農業機械更新の補助、圃場の改善、有害鳥獣対策などに活用し成果を上げている。こうした取組の高梁市での実現可能性について、市長の考えを問う</p> <p>2 市立学校園、高等学校の適正配置の在り方について</p> <p>(1) 高梁市立学校園適正配置に関する報告書が検討委員会より報告されたが、これに至る経緯経過を問う</p> <p>(2) 適正配置における学区の考え方、タイムスケジュール、廃校舎の活用方針を問う</p> <p>(3) 小学校と併設されている宇治高等学校など市立高等学校の今後の在り方を問う</p> <p>(4) 再配置計画とは別に、小規模特認校は存続し、小中一貫の義務教育学校を新設することになるが、これらの学校を全体計画の中でどのように位置づけていくのか</p> <p>(5) 適正配置を進めていく中で、教育長の目指す今後の高梁市の教育の在り方を問う</p> <p>3 市民のホテルとしての高梁国際ホテルの在り方について</p> <p>(1) 高梁国際ホテルはその設置目的、経過からして、名実ともに市民のホテルであると考えるが、市長の見解を問う</p> <p>(2) 高梁国際ホテルの在り方については現在調査研究が進められているが、その進捗状況を問う</p> <p>(3) 高梁国際ホテルについては、構造物の経年劣化というハードの課題と、これまでの経緯経過も含め継続経営をさせていただいているソフトの課題が並立している。それらを分離し方向づけを行う必要もあると考えるが、市長の考え方を問う</p> |

| 発言<br>順位 | 通 告 者          | 項 目 及 び 要 旨   |
|----------|----------------|---|
| 2        | 8 番<br>石 井 聡 美 | <p>1 介護報酬について</p> <p>(1) 令和6年4月から訪問介護の基本報酬が引き下げられ、中山間地域の訪問介護が打撃を受ける。市として是正の要望を国に提出すべきではないか</p> <p>2 防災について</p> <p>(1) 万が一の時、ペット同伴の避難所、問題を抱え避難が難しい人への対応は考えられているのか</p> <p>(2) 非常時にSNSなどの双方向でコミュニケーションが取れるような体制を作っておくべきではないか</p> <p>(3) 高梁市でも能登半島地震と同様に、孤立集落が発生する可能性がある。居住地の集約を積極的に進めていくべきではないか</p> <p>3 空き家について</p> <p>(1) 令和5年12月に空家等対策の推進に関する特別措置法が改正された。高梁市ではどのように対応するのか</p> |
| 3        | 6 番<br>森 上 昌 生 | <p>1 環境施策と動物愛護について</p> <p>(1) 里山の整備は高梁市の環境保護、鳥獣保護にもつながるものだが、どのような施策を考えているのか</p> <p>(2) 高梁市民の野良猫への関心は決して低くないと思うが、行政もさらなる積極的な施策をすべきではないか</p> <p>(3) 愛護動物の飼育に関して市独自の条例制定は考えていないのか</p> <p>2 人口動態について</p> <p>(1) 高梁市の人口動態の将来をどのように見ているのか</p> <p>(2) これまでの人口減少対策、定住対策などの効果はどうか</p> <p>(3) 人口減少という現実を踏まえて、どのような施策が考えられるのか</p>  |
| 4        | 1 番<br>金 尾 恭 士 | <p>1 令和6年度予算について</p> <p>(1) 自主財源（市税）の減少が目立つが、今後とも人口減少による自主財源減少は避けられないと考える。今後の予算の見通しを問う</p> <p>(2) 実質公債費比率は全国平均5.5%に対して高梁市11.8%、将来負担比率は全国平均8.8%に対して高梁市52.8%であり、高梁市の経常収支比率は今後98%と予想されている。持続可能な行財政運営であるのかを問う</p> <p>(3) 限られた予算で最大限の効果を上げるために、各部各課の連携をどのように行うのかを問う</p> <p>(4) 農林水産業費は約9.1億円で、令和5年度より約7000万円の減額となっている。食料安全保障、みどりの食料システム戦略等、国は農業施策に重点を置いてきているが、高梁市の農業への今後の対応を問う</p> |

| 発言<br>順位 | 通 告 者          | 項 目 及 び 要 旨  |
|----------|----------------|--|
| 4        | 1 番<br>金 尾 恭 士 | <p>2 大規模地震への防災対策について</p> <p>(1) ハザードマップへの地震対策対応の記述が少ない。今後詳細な内容を記述するのかどうかを問う</p> <p>(2) 長者ヶ原一芳井断層が、広島県福山市から井原市芳井町まで延びている。この場所を震源地として地震が発生すると、川上地域は震度5強の予測（岡山県危機管理課HP）がある。市民への周知について問う</p> <p>(3) インフラ（上下水道・電気・道路・橋梁・畑かん）の強化・補修はどのように行おうとしているのかを問う</p> <p>(4) 避難所運営と避難場所の分かりやすい広報について問う。また、平時からインクルーシブ防災・避難について考え、備えておくことが重要であるが、その対策を問う</p> <p>(5) 島根原発周辺で地震が発生した場合、原発30km圏内の約46万人が広域避難をしなければならない。岡山県に約10万人、そのうち高梁市へは松江市東出雲地区から約6300人が避難する計画となっている。高梁市としての対策はどのように考えているのか。</p> <p>3 教育について</p> <p>(1) 学校園適正配置について、中学校2校、小学校3校、義務教育学校1校の構想であり、各地域で意見聴取会が開かれたところだが、今後の方向性について問う</p> <p>(2) 落合幼稚園が3月末に閉園し、私立の「おちあいこども園」に大半の園児が通園する予定と聞く。私立園の運営方針・教育方針は尊重しなければならないが、高梁市就学前教育保育課程とどのように整合性を図っていくのか問う</p> <p>(3) 給食センターの統合について、学校再編とともに考えていく重要な問題と考えるが、市の構想を問う</p> <p>4 人口減少対策について</p> <p>(1) 人口減少対策戦略本部が立ち上げられたが、メンバーは、本部長が市長で、部長、地域局長等計19名で、ほとんどが50歳以上の男性である。20代から30代前半、男女同数での本部で、闊達な意見を出していく仕組みが必要と考えるが、見解を問う</p> <p>(2) 高梁市における子育てに関して現状をどのように把握し、令和6年度予算に反映させているのか問う</p> <p>(3) 出産、育児については市内企業との連携が重要である。男女を問わず仕事と子育てが両立できる環境整備のための支援が必要である。市としての考えを問う</p> |

| 発言<br>順位 | 通 告 者          | 項 目 及 び 要 旨  |
|----------|----------------|--|
| 4        | 1 番<br>金 尾 恭 士 | <p>(4) 「学校が地域からなくなる」、「学校のないところには住めない」、「負のスパイラルが続いていく」といった声を聞くことが多いが、これをどのように考えるのか。また、「人口ビジョン2100」では、「人口減少が進み、高齢化率が高い過疎地域等を官民あげて支援し、未来を先取りして豊かに暮らせるモデル地域を創る」という視点を重要視すべきとあるが、どのように考えているのか</p> <p>5 災害復旧事業に係る不適切な事務処理に関する再発防止策について</p> <p>(1) 個人的要因、組織的要因を掲げ、5項目の視点で再発防止策が示されたが、短期、中長期として具体的な進行管理スケジュールが必要ではないか</p> <p>(2) 市民への説明責任を、今後どのように果たしていくのか</p> <p>(3) 「高梁市職員倫理規程」の制定について問う</p>   |
| 5        | 7 番<br>森 和 之   | <p>1 高梁川水系中上流ブロック河川整備計画について</p> <p>(1) この計画は県の計画であるが、高梁市として計画に対し要望活動は行っているのか</p> <p>① 広瀬地区、玉川地区の整備について</p> <p>② 落合橋下流から合流点までの整備について</p> <p>③ 落合橋から新幡見橋までの堆積土と支障木について</p> <p>④ 高倉地区、川面地区の整備について</p> <p>2 防犯灯整備について</p> <p>(1) 新年度予算に防犯灯設置事業が計上されている。過去に要望があったが設置できていない箇所や通学路を優先的に受け付けるなどの考えはあるのか</p> <p>(2) 電気代がかからないソーラータイプの防犯灯の設置は考えられないか</p> <p>3 高梁市立学校園適正配置について</p> <p>(1) 市内各地域で意見聴取会が行われた。受入れ側の学校に対してはどのような取組を考えているのか</p> <p>4 愛護動物について</p> <p>(1) 愛護動物に関わる問題は、動物好き、動物嫌いなどの主観も含めて非常に複雑で解決は難しいと考えるが、猫城主さんじゅーろーを宣伝する市としての考えを問う</p> <p>(2) 過去の一般質問において何度も野良猫問題が取り上げられたが進展はないと感じている。野良猫問題を解決するにはTNR活動を進めるのが一番の近道だと考えるが、市としての考えを問う</p> <p>(3) 愛護動物と安心して「健幸」に暮らせるまちづくりなどにも力を入れるべきではないか</p> |

| 発言<br>順位 | 通 告 者           | 項 目 及 び 要 旨   |
|----------|-----------------|---|
| 6        | 15 番<br>川 上 博 司 | 1 がん患者に対するアピランス（外見）サポートについて<br>(1) がん治療による外見の変化に悩む患者に対し、補整具の購入費用を一部助成すべきではないか<br>2 認知症を発症しても安心して暮らせる社会づくりについて<br>(1) 認知症に対する正しい理解を深める広報活動の展開について問う<br>(2) 認知症の人への理解を深める体験型教育について問う<br>(3) 認知症のスクリーニング検査の推進について問う  |
| 7        | 5 番<br>伊 藤 泰 樹  | 1 少子化対策について<br>(1) 少子化の原因と対策について問う<br>(2) 結婚と第1子出産に特化した施策の必要性について問う<br>2 交通安全について<br>(1) 国道180号段町交差点について<br>① 死亡事故が続くこの交差点の認識を問う<br>② 国道と市道の道路管理者の協議の場について問う<br>③ 市道部分の改良について問う<br>(2) 危険が予見される場合の対応について問う<br>① 石垣について<br>② 桜の木について<br>(3) かぐら街道など山間部の道路のセンターライン引きについて問う<br>3 学校給食について<br>(1) 学校給食の目的について問う<br>(2) 学校給食センター再編検討委員会について<br>① 委員会の設置目的と委員構成、開催回数、現場視察などの状況について問う<br>② 提言書について<br>ア 施設整備の必要性について問う<br>イ 民間委託の検討に至る経緯について問う<br>ウ 質・安定性の担保について問う<br>(3) 食物アレルギー対応の拡充について問う |
| 8        | 3 番<br>平 松 久 幸  | 1 能登半島地震における被災者支援について<br>(1) 高梁市としてどのような支援ができるかを問う<br>(2) 東日本大震災のときの支援は何をしたのか。また今回は同様な支援なのか<br>(3) 市営住宅の提供、就学における様々な支援は1年とあるが、期間を延長してはどうか<br>(4) 今なお約1万人の被災者が避難所で暮らしている。高梁市の支援内容は積極的に周知できているのか  |

| 発言<br>順位 | 通 告 者          | 項 目 及 び 要 旨   |
|----------|----------------|---|
| 8        | 3 番<br>平 松 久 幸 | <p>2 高梁認定こども園（仮称）について</p> <p>(1) 高梁認定こども園（仮称）の工事進捗は予定どおりとの説明であったが、複雑な工事内容であり一般的に材料調達が困難な状況と言われているが、完成までの工程に無理はないのか</p> <p>(2) 複雑な設計でもあり、工期を考えると発注が遅いと思うが、どう考えているのか</p> <p>(3) 合併特例債の繰越しが可能と聞くが、安全面、材料調達の面からも工期を延長すべきではないか</p> <p>3 高梁国際ホテルについて</p> <p>(1) 令和5年度当初予算で高梁国際ホテル整備検討事業費が400万円計上されていたが、検討状況を問う</p> <p>(2) 経営者の意向はどうか</p> <p>(3) 高梁市の都市機能としてホテルは重要であるが、維持していくにあたり、市民負担を少なくするための方策をどのように考えているのか</p> |
| 9        | 10 番<br>石 部 誠  | <p>1 公共工事入札の談合疑惑について</p> <p>(1) 第三者から談合の可能性があるとの指摘があるが、高梁市の見解と今後の対応を問う</p> <p>2 行財政改革について</p> <p>(1) 行財政改革を行う理由について問う</p> <p>3 学校の統廃合について</p> <p>(1) 学校統廃合の計画と進捗を問う</p> <p>4 学校給食について</p> <p>(1) 給食センターの統廃合や民営化の計画と進捗について問う</p> <p>(2) 給食の無償化について問う</p> <p>5 学童保育について</p> <p>(1) 今後の運営について問う</p>  |
| 10       | 2 番<br>新 倉 淳   | <p>1 「備中高梁伝えたいし！」について</p> <p>(1) 石村嘉成氏の任命に至る経緯を問う</p> <p>(2) 任命の目的を問う</p> <p>2 子育て支援について</p> <p>(1) おむつ等支援事業の成果を問う</p> <p>(2) 保育園留学事業の成果を問う</p> <p>3 農業者に対する支援策について</p> <p>(1) 新規就農総合対策について問う</p> <p>(2) 認定農業者の推移について問う</p> <p>(3) 認定農業者への支援内容について問う</p> <p>4 防災力について</p> <p>(1) 自主防災組織の結成状況について問う</p> <p>(2) 災害時の食料や資材等の備蓄状況を問う</p>  |

| 発言<br>順位 | 通 告 者           | 項 目 及 び 要 旨   |
|----------|-----------------|---|
| 11       | 12 番<br>小 林 重 樹 | <p>1 令和6年度当初予算の主要施策について</p> <p>(1) 「人口減少対策」に向けた取組について</p> <p>① 人口減少対策に係る情報の収集、分析として実施する次の事業の詳細を問う</p> <p>ア 人口ビジョン改訂事業</p> <p>イ 転入転出者実態調査事業</p> <p>② 空き家情報バンク活用促進助成事業の詳細を問う</p> <p>③ 定住促進住宅助成事業の詳細を問う</p> <p>(2) 「子育て支援対策」に向けた取組について</p> <p>① 子育て応援パッケージ支援プロジェクトの詳細を問う</p> <p>② 多子世帯子育て応援金支給事業の詳細を問う</p> <p>③ 高梁認定こども園（仮称）施設の運営について、子育て支援の中核となる施設としての機能は充実しているのか</p> <p>(3) 「防災力の向上」に向けた取組について</p> <p>① 県の高梁川河川改修事業（高梁地区）の概要を問う</p> <p>② 広瀬地区避難施設整備事業の詳細を問う</p> <p>③ 下水道施設浸水対策事業（落合雨水ポンプ場）の詳細を問う</p> |
| 12       | 13 番<br>川 上 修 一 | <p>1 基幹産業である農業について</p> <p>(1) 食料自給率について問う</p> <p>(2) 米価の考えについて問う</p> <p>(3) 農業振興をどのように考えているか</p> <p>(4) 農地の税について問う</p>  |
| 13       | 14 番<br>倉 野 嗣 雄 | <p>1 森林環境譲与税の活用について</p> <p>(1) 今後の実施計画について問う</p> <p>(2) 後継者の育成について問う</p> <p>2 移住・定住について</p> <p>(1) 移住コンシェルジュが1名活躍いただいている。本市は500平方キロメートルを超える市域であり、1名では大変と考えるが、増員の考えはあるのか</p> <p>3 行財政改革について</p> <p>(1) 全員協議会で改革案が示され、5年間で10億円の効果額となっているが、市民にどのように伝えるのか</p> <p>(2) 本部長を務める市長の決意を問う</p>  |